

## 探究の学びに関する実態調査（質問項目）

| 番号 | 質問文                                                 |
|----|-----------------------------------------------------|
| 1  | 課題設定のために研究分野に関するイベントや研究会に参加している                     |
| 2  | 課題設定のために自主的に研究分野に詳しい人（自校の先生以外）の助言を受けている             |
| 3  | 仮説を立てるための実験や観察を行っている                                |
| 4  | 先行研究の再現実験や観察を行っている                                  |
| 5  | 仮説を立てるためにフィールドワークを行っている                             |
| 6  | 仮説を立てるために文献調査を行っている                                 |
| 7  | 本・論文・インターネットを調べる際は、著者のこれまでの活動や研究を調べて信頼できるかどうか確かめている |
| 8  | 知り得た情報・収集したデータが確かなものか確認している                         |
| 9  | 知り得た情報・収集したデータについて、ある視点から共通点や相違点を明らかにしている           |
| 10 | 知り得た情報・収集したデータについて、多面的に分析するように心がけている                |
| 11 | 知り得た情報・収集したデータについて、観点を明確にして整理している                   |
| 12 | 課題の解決方法を考えるために先行研究や研究方法に関する文献を参照している                |
| 13 | 事前の情報収集の結果をもとに課題解決の方法を立案している                        |
| 14 | 課題を設定したプロセス（経緯）を認識している                              |
| 15 | 課題の意義について自分なりに理解している                                |
| 16 | 締め切りなどスケジュールを把握し計画を立てている                            |
| 17 | 課題はグループのメンバーもしくは自分で設定している                           |
| 18 | 課題は自分の意見や思いが反映されている                                 |
| 19 | グループや自分にとって挑戦しがいのある課題を設定している                        |
| 20 | これまで誰も取り組んでいない課題を設定している                             |
| 21 | 自身の興味・関心と社会・地域の課題を結びつけている                           |
| 22 | 自らの個性や能力がどのように社会・地域の課題解決に結びつくかについて認識している            |
| 23 | 実験・観察の際は仮説の検証に必要な適切な量のデータをとっている                     |
| 24 | 実験・観察の手順・方法・条件が正しいものであるか確認している                      |
| 25 | 実験・観察は、後から再現することが出来るよう取り組んでいる                       |
| 26 | 実験・観察で、明らかにしたいことがはっきりしている                           |
| 27 | 実験・観察の様子を実験ノートや写真・録音・録画等で記録している                     |
| 28 | 実験・観察の際は仮説の検証方法を予備実験を通して十分に検討している                   |
| 29 | フィールドワークの際は、事前調査を行い、何を質問・観察すべきか整理している               |
| 30 | フィールドワークの結果を自分なりの視点をもって整理している                       |
| 31 | フィールドワークの内容を、メモや写真・録音・録画等で記録している                    |
| 32 | フィールドワークの現場では用意した質問以上に興味を広げて活動している                  |
| 33 | フィールドワークを通して、研究の発展に関わる（協力してもらえる）人間関係を構築している         |
| 34 | 課題解決のために研究分野に関するイベントや研究会に参加している                     |
| 35 | 課題解決のために自主的に研究分野に詳しい人（自校の先生以外）の助言を受けている             |
| 36 | 地域住民と協働して課題の解決に取り組んでいる                              |
| 37 | 研究者と協働して課題解決に取り組んでいる                                |
| 38 | 海外の人びとと協働して課題解決に取り組んでいる                             |
| 39 | テーマが似ている他のグループや個人（同じクラスや他のクラス・学年）と協働して課題解決に取り組んでいる  |
| 40 | 本・論文・インターネットを調べる際は、複数の立場の異なる主張に当たり、比較検討している         |
| 41 | 本・論文・インターネットを調べる際は、著者のこれまでの活動や研究を調べて信頼できるかどうか確かめている |
| 42 | 知り得た情報・収集したデータが確かなものか確認している                         |
| 43 | 知り得た情報・収集したデータについて、ある視点から共通点や相違点を明らかにしている           |
| 44 | 知り得た情報・収集したデータについて、多面的に分析するように心がけている                |
| 45 | 知り得た情報・収集したデータについて、観点を明確にして整理している                   |
| 46 | 分析した結果から論理的に結論を導いている                                |
| 47 | 分析した結果を研究目的に結びつけて考察している                             |

|    |                                          |
|----|------------------------------------------|
| 48 | 分析した結果を自分なりの解釈にもとづいて考察している               |
| 49 | 分析した結果から次の研究につながる新たな課題を見いだしている           |
| 50 | 課題の設定から研究方法、結論までの一貫性（論理構造）を意識してまとめている    |
| 51 | 発表では、伝えたいことを明確にしている                      |
| 52 | 論理展開や主張等がわかりやすくなるようにポスターや発表資料等を工夫して見せている |
| 53 | 発表の練習を他者に見てもらい、フィードバックをもとに発表内容を改善している    |
| 54 | 発表の際は、要点を整理して話そうとしている                    |
| 55 | 発表の際は、発表の聞き手に応じて話し方を変えている                |
| 56 | 他の人の発表を聞く際は、良い点・改善点は何かを考えている             |
| 57 | 他の人の発表を聞く際は、自身の発表と対比させている                |
| 58 | 他の人の発表を聞く際は、研究の意義を意識しながら聞いている            |
| 59 | 他の人の発表を聞く際は、研究の妥当性を意識しながら聞いている           |
| 60 | 他の人の発表を聞く際は、自身に生かせる点を分析している              |
| 61 | 自分が行った探究の方法が適切であったか考えている                 |
| 62 | 今後探究を続けていくにあたり、改善点を見つけ、その解決策を考えている       |
| 63 | 新たに探究をするとすれば、どのように進めていくかを考えている           |
| 64 | 研究の目的や方法を再度確認し、課題を再設定している                |
| 65 | 探究により、自分に身についた力が何かを考えている                 |
| 66 | 探究により、これから自分が伸ばしたい力や必要な力が何かを考えている        |
| 67 | 探究により、自分の学習に対する考え方（価値観）がどのように変わったか考えている  |
| 68 | 探究により、学習に対する姿勢がどのように変わったか考えている           |
| 69 | 探究で身についた力を日々の学習や生活でどのように生かせるのかを考えている     |
| 70 | 探究で身についた力を日々の学習や生活に生かしている                |
| 71 | 探究で身についた力を生かして、社会・地域にどのように参画できるのかを考えている  |
| 72 | 探究で身についた力を生かして、社会・地域に参画しようとしている          |
| 73 | 探究で取り組んだ内容は社会・地域にどのように貢献できるのか考えている       |
| 74 | グループの中で自分の役割や分担を意識して研究に取り組んでいる           |
| 75 | 課題解決の際に必要な情報を分担して集めている                   |
| 76 | 必要なときは自分の役割を超えてグループを手伝う                  |
| 77 | 具体的な課題解決策をグループで考えている                     |
| 78 | 相手の意見を尊重している                             |
| 79 | グループ内で意見が分かれた時、みんなが納得した上で結論を出している        |
| 80 | 少数者の意見をふまえて考察している                        |
| 81 | 議論の際は、自分の意見と他者の意見を集約し、メンバーが納得できる結論を出した   |
| 82 | グループ活動の目的を意識して参加するようにしている                |
| 83 | グループでは自分から率先して意見を言う                      |
| 84 | 自分の考えを持って活動に参加している                       |
| 85 | グループの研究に主体的に貢献している                       |
| 86 | グループでの成果を個人での活動でさらに深めている                 |
| 87 | グループでの進め方を振り返っている                        |

福井県立若狭高等学校 SSH研究部

※本質問紙は、横浜国立大学との共同研究により作成したものです。